



一学期が終了します。保護者の皆様、地域の皆様、 ご支援・ご協力ありがとうございます。



一学期も登校日数が6日になりました。先日の参観日、そして、昨日の地区懇談会に参観・参加いただきありがとうございます。

一学期はPTA活動も活発に行われ、先月から今月にかけて様々な行事や活動が行われました。7月7日に松ヶ丘小学校で行われた犀北ブロック親の会には多くの皆様が参加されました。学校内では、PTA正副学級会長・校外指導部・支部長会が、学級懇談会や水難救助訓練・地区子ども会・地区懇談会等の企画や運営を行っていただきありがとうございます。また、広報部は数回の部会を開催し校正等を重ねた後、先日、PTAだより第157号が発行されました。厚生教養部では学期末のカーテンの洗濯だけでなく、夏休み明けの親子作業の企画も進めていただいております。昨日、親子作業のお知らせが配布されました。今週中には、母親委員会だより「あんずの郷」も発行される予定と伺っております。

7月9日には、学校評議員の皆様にも授業を参観していただき、今年度の学校運営や児童への指導についてご意見をいただきました。

6月27日の全校朝会では、本校学校長が赤心館前にある石像の人物『二宮金次郎』について話しました。今回の学校だよりにはその内容を掲載しました。お子さんと一緒に読んでいただいたり、お子さんに分かりやすく語っていただいたりすることで、子どもたちはより深く理解してくれるものと思います。

全校朝会(6月27日) 「二宮金次郎さんはどんな人だったんだろう」 「小を積んで大と為す」

『二宮金次郎』

1 石像写真を提示

- (1) さあ、この人の石像を見たことあるかな? どこにあるか知っているかな?
- (2) 名前を知っている人いますか?

この人の名前は、二宮金次郎さん、別名二宮尊徳さんとも呼ばれました。この人は、貧しい中でも一生懸命働き、勉強をして、世の中のために力を尽くした人です。だから、日本の子どもたちが、この金次郎さんのように世の中の役に立つ、立派な人になってほしいということで、全国の学校や集会所・公民館の庭など、いろいろなところに石像や銅像が建てられました。よく見てごらん、背中には薪を背負っているね、手には本を開いているよ。これは、金次郎さんが働きながらも少しでも時間を見つけては勉強したということを表しているんだ。

2 二宮金次郎物語

さあ、二宮金次郎さんはどんな人だったんだろう。これから、はじめの部分だけになるけど二宮金次郎物語を先生がお話します。

3 金次郎の生い立ち

二宮金次郎さんは、天明七年(1787年)今からちょうど220年前、今の神奈川県小田原市柏山(かやま)というところに生まれました。

金次郎の家は、大地主でたくさんの田んぼや畑をもっていて、大変豊かな暮らしをしていました。お父さんの利衛門さんは柏山の善人と言われるほど地域の人々から頼りにされ、好かれていました。また、お母さんのヨシさんも大変優しい人で、金次郎はとても幸せな子ども時代をおくっていました。

ところが、金次郎が4歳になったころから、飢饉といってお米や野菜など作物がとれないことが多くなりました。そして、5歳になったときには、大雨と洪水のため近くの川が氾濫して、金次郎の家の田畑の多くが石や泥で埋まってしまいました。

お米や作物が穫れなくなった金次郎の家では、このことがきっかけでどんどん貧乏になっていき、その苦労でお父さんが病気で寝込んでしまいました。



4 苦しい生活

十歳になった金次郎は、病気のお父さんの代わりに川の堤防工事に出て働いたり、夜は、寝るまでわらじを作って、それを工事に出ている人たちに売ったりしてお金を稼ぎました。この絵はねえ、金次郎さんが稲の藁でわらじを作っている様子だよ。このころは、靴なんてなかったから、藁で作った草履を履いていたんだよ。また、病気で寝ているお父さんの世話も一生懸命しましたが、そんな苦労の中で、お父さんがついに亡くなってしまいました。金次郎13歳のときのことです。

5 働きながら勉強

金次郎は、お母さんと幼い二人の弟のために、今まで以上に働きました。秋の取り入れがすんでまわりの山がうっすらと雪化粧をするころには、山へ薪を取りに行きました。片道一時間ほどの山道を毎日往復し、帰りには重い薪をたくさん背負って降りてきました。そして、それを町に売りに行ったりしてお金を稼ぎました。また、金次郎は、本を読むことが好きで、たくさんの本からいろいろなことを勉強をしたそうです。

しかし、そんな生活のうちにお父さんが死んで2年後には、お母さんまで亡くなってしまいました。悲しいことは続くものです。そのすぐあとで、また川が氾濫し洪水に遭ったりして、ついに自分の家の田畑も失ってしまいました。そして、弟たちは、お母さんの実家へ、金次郎は、お父さんの兄弟の家に預けられることになりました。

6 小を積んで大と為す

おじさんの家に預けられた金次郎は、おじさんの迷惑にならないようにと、色々工夫したり考えたりしました。ある時、明かり取りの原料になる油菜の栽培を思い立ち、菜種を1畝ほど貸してもらい、それを植えて栽培したら何と12畝以上も穫れたのです。12倍以上になったんです。また、田植えが終わって余った稲の苗があぜ道に捨ててあったのを拾い集めて家の沼地に植えておいたところ、米俵1俵といえますから約60kgも穫れたのです。

このことは、金次郎にとっては、とてもいい勉強になりました。小さなことをこつこつ積み重ねていくと後で大きな物を得られるということです。金次郎さんは、このころからずっと、「小を積んで大となす」という言葉を大切にしました。

OPTAリサイクルデー 今月は本日から20日まで

6月下旬に、長野市資源回収報奨金5月分振込通知が届き、

4～5月分の金額は 11,360円 でした。

6月は一ヶ月でリサイクルボックスがほぼいっぱいになりましたので、6月分を7月4日に業者へお願いして回収していただきました。学校職員もダンボール等をリサイクルさせていただいております。今月もご協力をお願いします。

○学有林整備作業・・・遊歩道がほぼ完成

7月1日(日)、安茂里小学校学有林愛護会が、学有林の整備作業を行いました。今回、初参加の保護者の方もおられました。梅雨時で足下が心配でしたが、学有林内はそれほどでもなく予定以上の進み具合で、学有林の中央を下から上までジグザグに伸びる遊歩道がほぼ完成しました。達成感・成就感あふれる一日となりました。



○不審電話が増えています・・・保護者の皆様へ 学校よりお願い

昨日の地区懇談会でもお知らせしましたが、6月下旬より不審電話が多くなっております。ご家庭でも、お子さんに次のような指導をし、気をつけていただきますようお願いいたします。

- ①学級の連絡網の目的や外部に漏らしたときの危険性についてお子さんに話して下さい。
*しつこい教材等の勧誘、振り込め詐欺等の悪用、子どもを誘拐したから現金を要求するという犯罪につながる等の心配も考えられます。
- ②不審電話があった場合には、保護者にできるだけ早く話すように伝えて下さい。
- ③不審電話があった場合には、まず最寄りの警察に届けて下さい。次に、学校へ連絡願います。情報を共有することで被害を未然に防ぐことができます。よろしく願いいたします。
※連絡先 中央警察署：244-0110 学校：226-4346